

りふれま
SCULPTURE

R18

成人向け
18歳未満
閲覧禁止

メイドたちの 性事情2

男子禁制の館で

メイドとして仕える僕が、

女主人をイかせて頂とすまで

漫画

桜間ハルオミ

孤児だった僕は
「フランツ」という
名前を捨てて

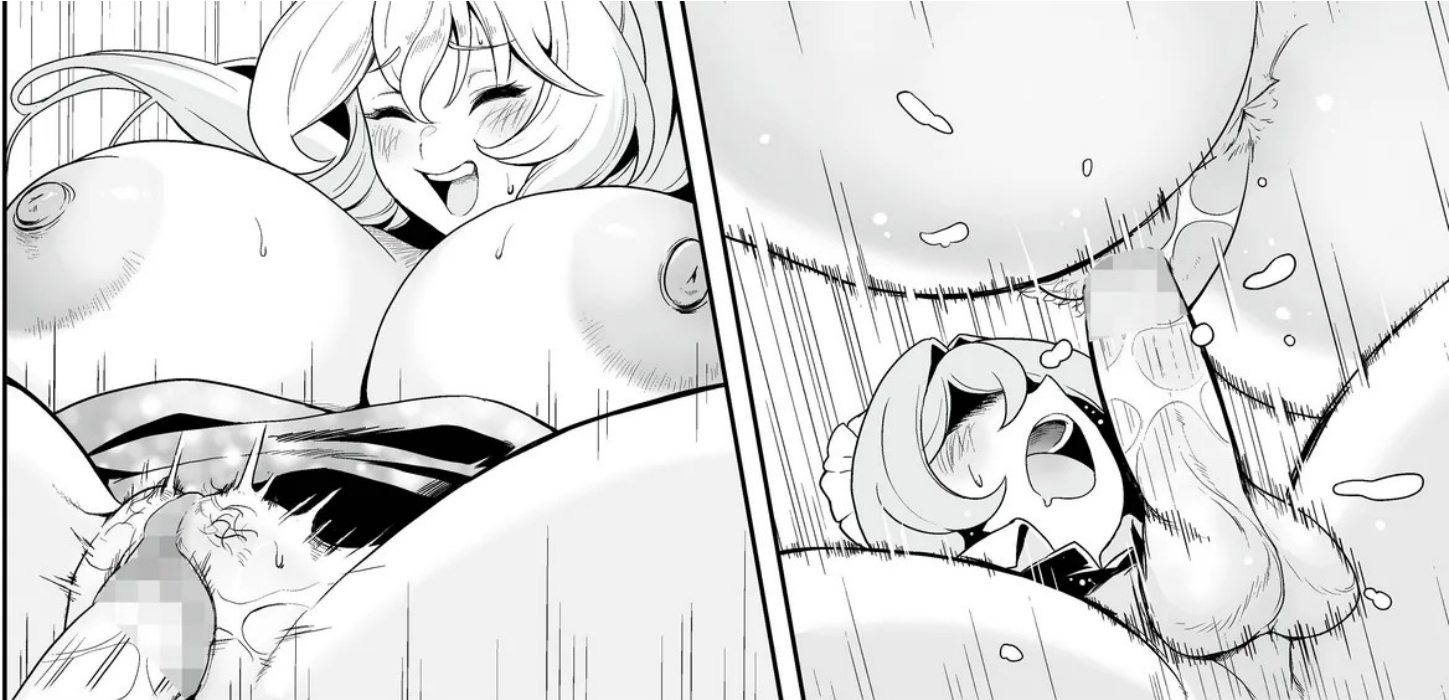
メイドの女の子
「フラン」として
とある屋敷で
働くことになった

はじめは戸惑ったけど
身よりのない僕には
以前より幸せな
生活ができると思った

だけど

どうやら僕は

この人たちの
玩具になるために
ここに来たらしい



男子禁制の館
少女のふりをして
迎えられた
僕の生活は

たった一人の
男性として
彼女たちの
相手をする毎日だ



それから
少しだけ時間が
経ったある日





なんだよ!
フランはこれが
仕事だろ?
大丈夫だって
すぐ終わらせるから

パニッ
パニッ



あっ…
…っあ
♥♥



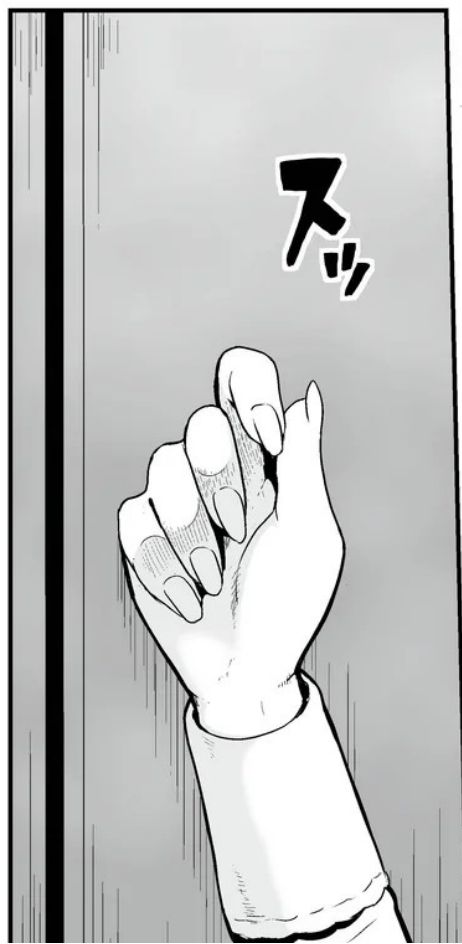
ダメ…ですよ!
リルギットさん
いまお仕事中ですよ!?

ズッ



ロ
ミ
コ
ニ
コ
ニ

ビ
ク
ル



スッ



メイドとしての
仕事中でも構わず
体を求められていた

じゅぽっ

じゅぽっ

ドアの外まで
声が聞こえた
わよ

あ…いや
あはは！

水と雑巾の入った
バケツをひっくり
返しちゃいました

カチヤ

いったい
何を
しているの？

いま片付け
てんやわんや
なんですよ

奥様は何か
御用ですか？

びびり

さっき外で
強風に吹かれて髪が
くずれちゃって

誰かに直して
もらおうと
探してたのよ

すん…

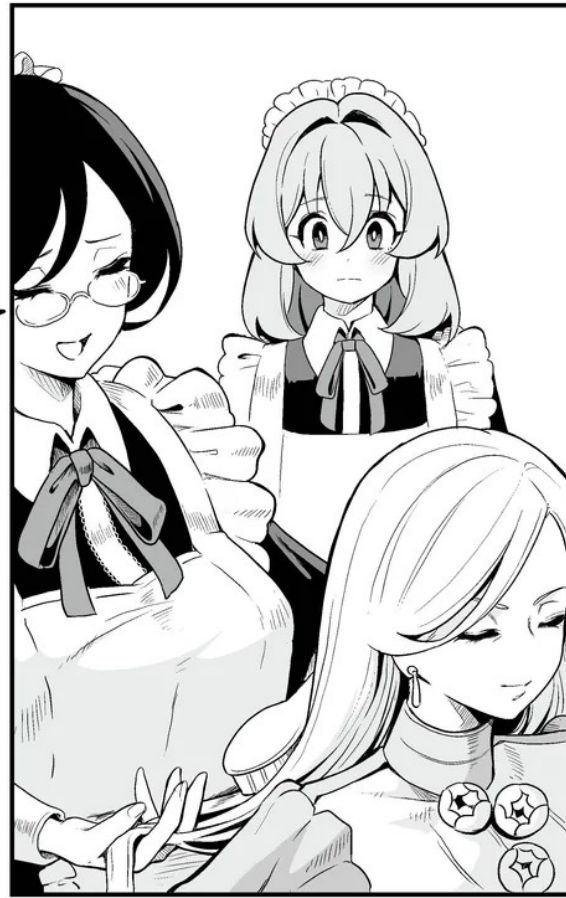
それにしても
なにかしら…
このニオイ





相変わらず
綺麗な御髪で
ございますね

ひどいなあ…
リルギットさん



何を言い
出すかと
思えば

ビジネスではね
必ずしも
若く綺麗であれば
いいとは
限らないのよ



こんなにキツチリと
まとめてしまうのは
少々もったいなく
感じてしまいます

ゆるく流して
御化粧も変えたら
今よりうんと
お若く見えるのでは？



なるほど…
さすがは奥様で
ございます

身だしなみの粋を
越えたお洒落なんて
男を寄せつける
だけのものよ



女であるだけでも
侮られがち
なんだから
年相応…

なんなら多少
老けて見られたって
構わないわ



まあ…
人並みには

異性に愛し
愛されるのは
人の本懐では？



あなたは男に
好かれないと
思っているの？



…



そう…残念ね
あなたは私に
似てると
思ったけれど

男なんて
生きていくのに
必要ないわ

まあここで
働いてる以上
そういうのは
期待しないことね

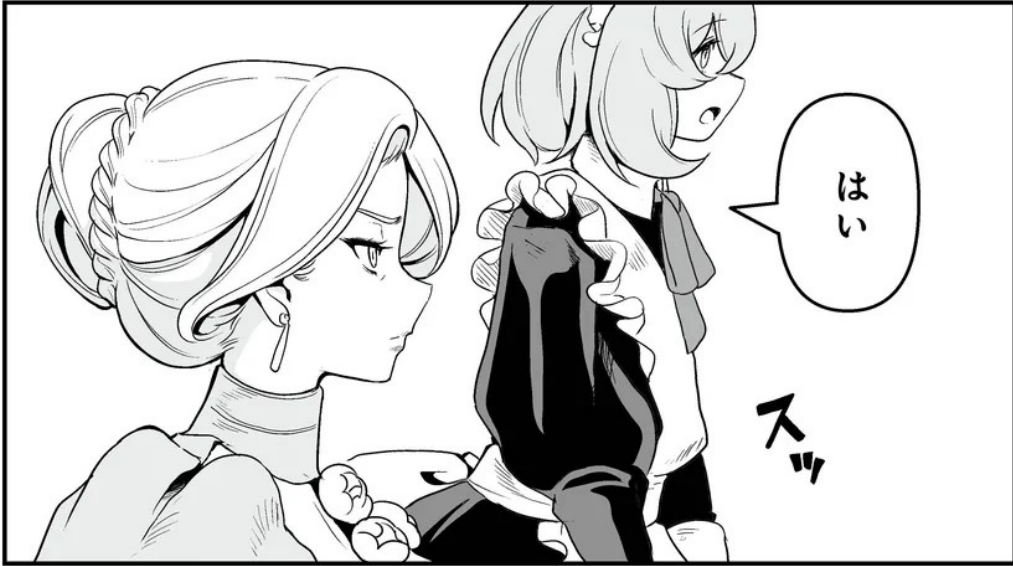


その
髪飾りを
とってもらえ
ますか？

フラン



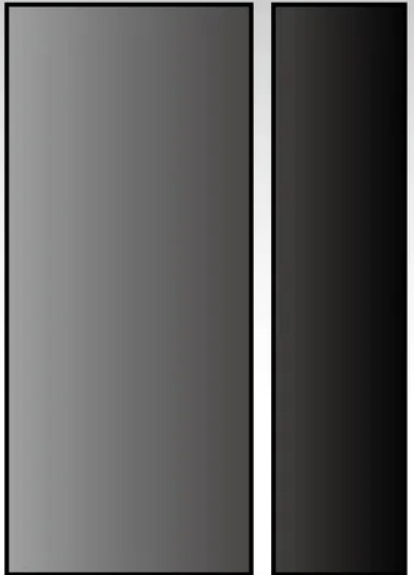
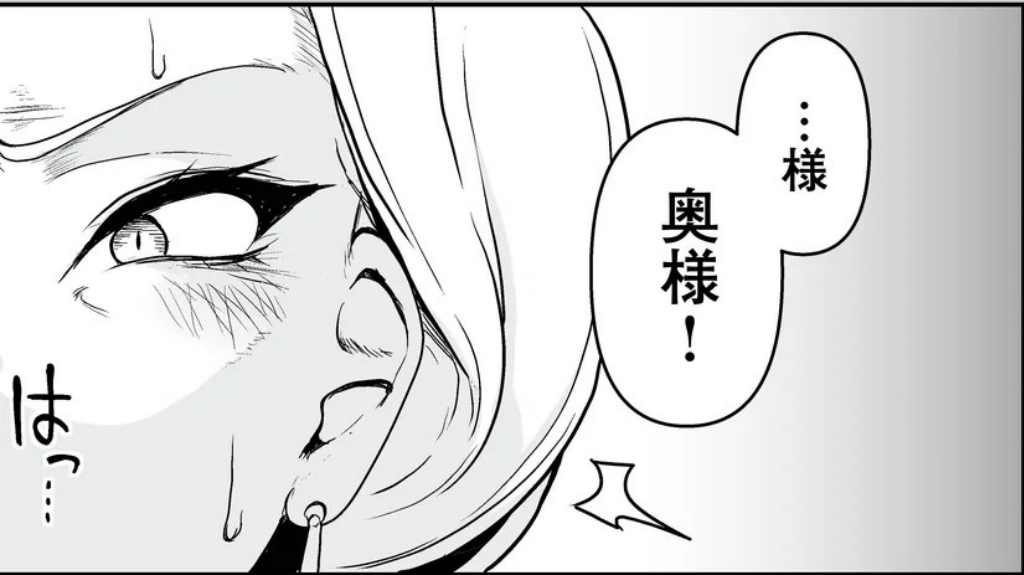
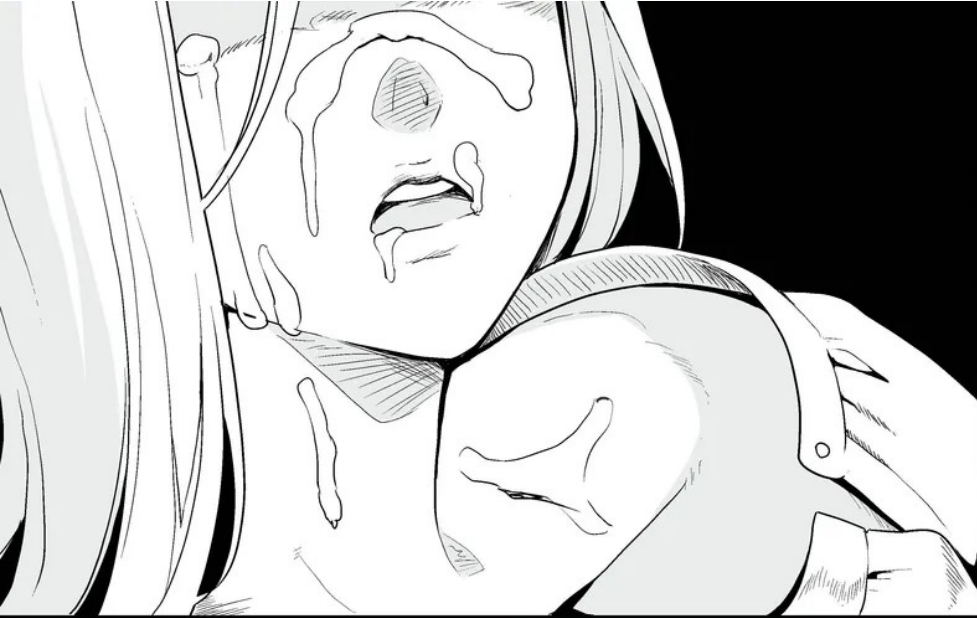
…できました



はい

スッ







奥様
体調が優れ
ないのでしたら



今日は早めに
休まれますか？

エドモ



はあ…

はあ…



…？
かしこまり
ました



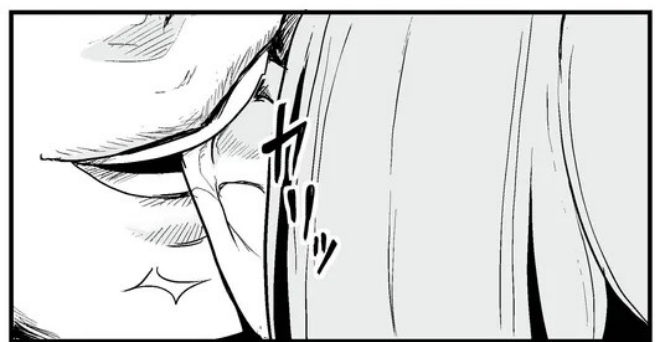
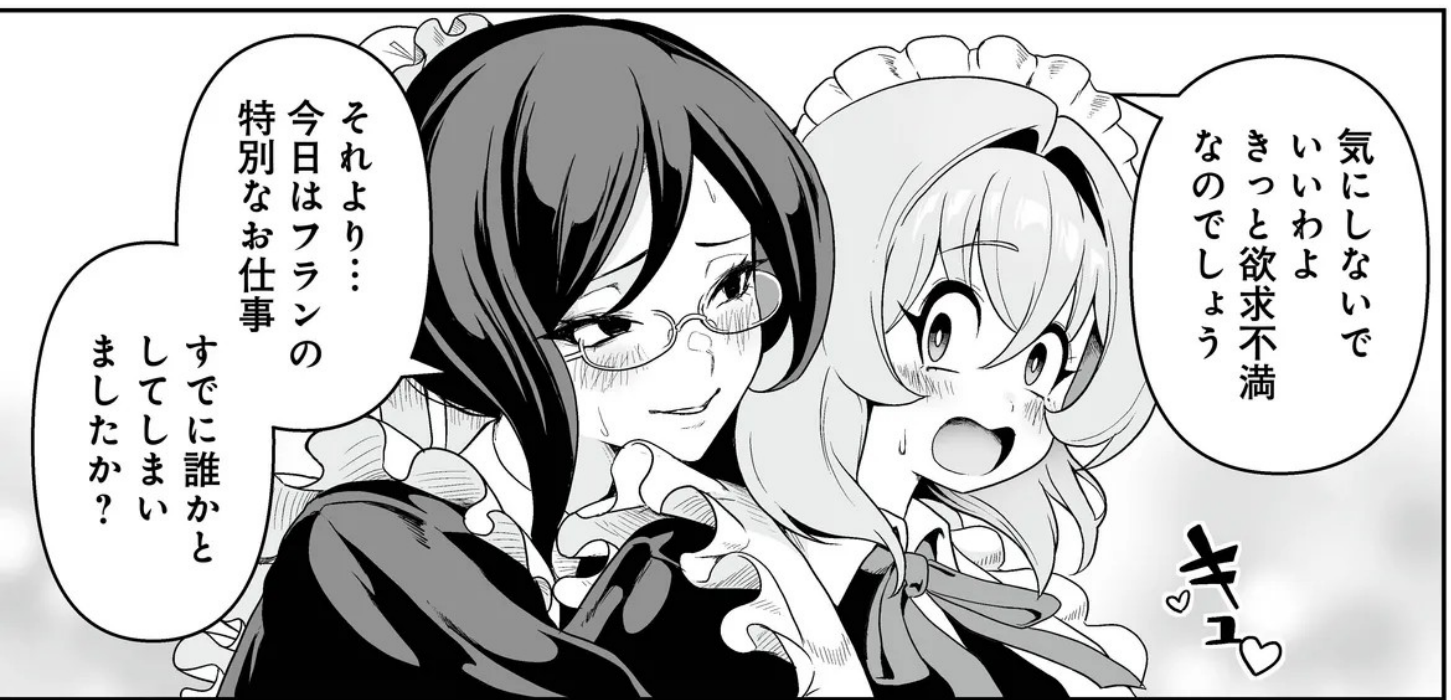
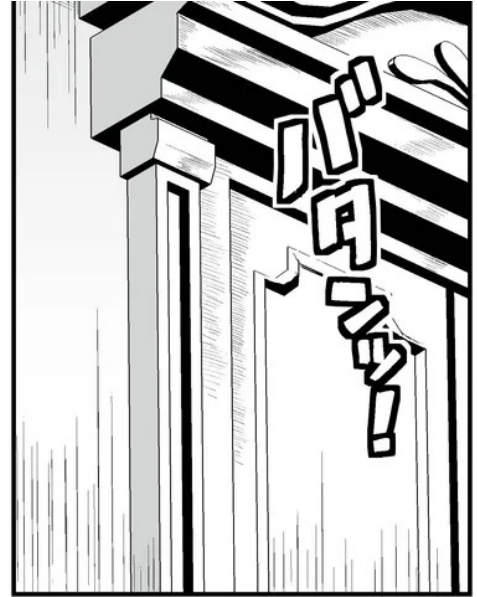
なんでもないわ
早くつけて
ちょうだい



ギョ…

ありがとう
仕事に戻って
ちょうだい







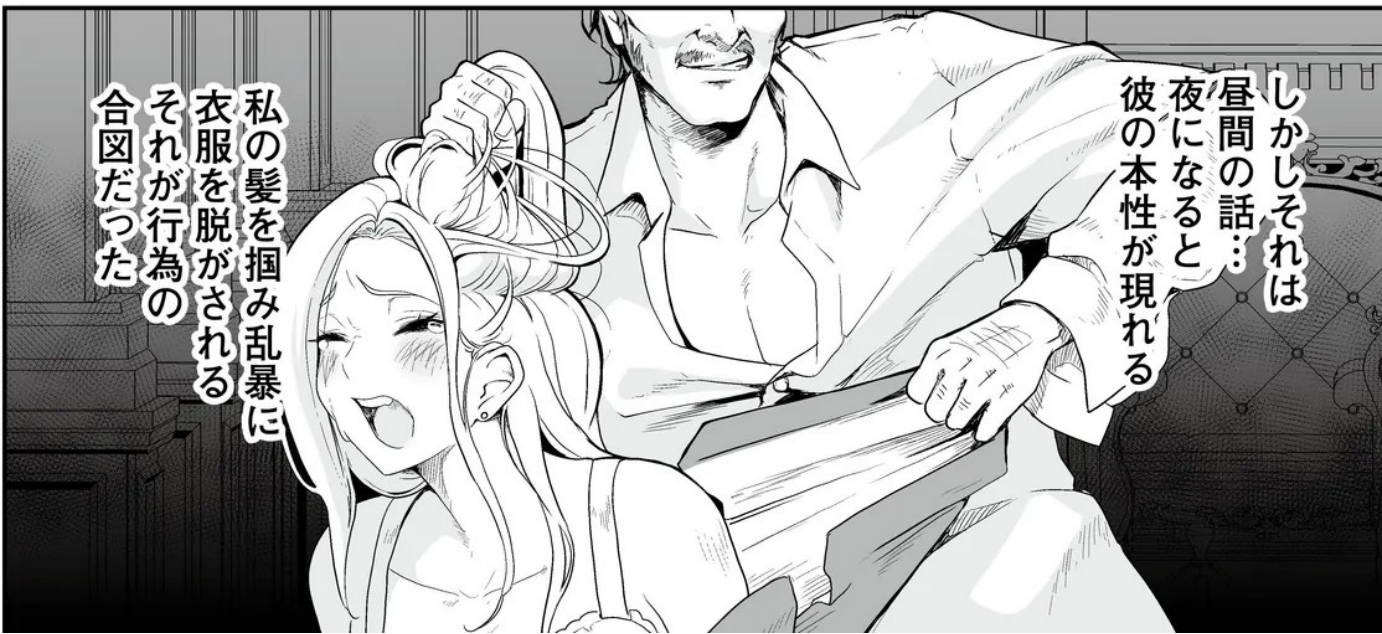
なかなか
見つから
ないわね

ただクローネに
場所を聞いても
誤魔化される
だろうし



死んだ旦那は
声も体も大きく
「男らしさ」に
溢れていた

毎日多くの
仕事をこなし
荒々しい面はあれど
外当たりは良い方
であった



しかしそれは
昼間の話：
夜になると
彼の本性が現れる

私の髪を掴み乱暴に
衣服を脱がされる
それが行為の
合図だった



最後は征服の
証とでも言いたげに
決まって顔に
精液をかけられる

それが嫌で嫌で
たまらない



前戯もなく
無理やり突っ込まれる
この男のペ〇スは
痛くて仕方がなかった



今でも
忘れない…

あの青臭い
香り…



フランは…
男…

あの子が男なら
色々な違和感に
説明がつく



そして…同じ匂いが
フランからした

すれ違いざまの
ほんの少しだけど
間違いない…

ギキ…



昼間の
リルギットの
不可解な行動も

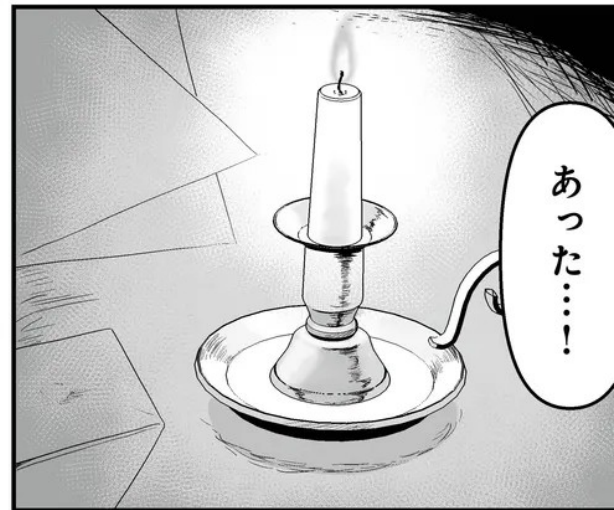


人員の補充を
なぜ孤児院から
したのかも



中性的な少年を探し
屋敷に紛れ込ませる
ためならこれ以上の
都合の良い場所もない

そして
その目的は…



あった…!



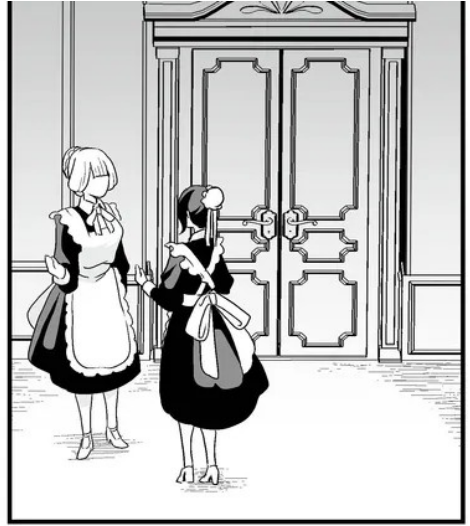
フランを
孤児院から引き
受けたときの書類

yochogae
kayom dox hoy may zake
mayhm achygham seahy
ereyem aahoypp mmgh ahcl
amhy may dlem ydhy
acteahy ___ ky ___ ya
ahcdy mayhe
amgah aamay- ayamhy

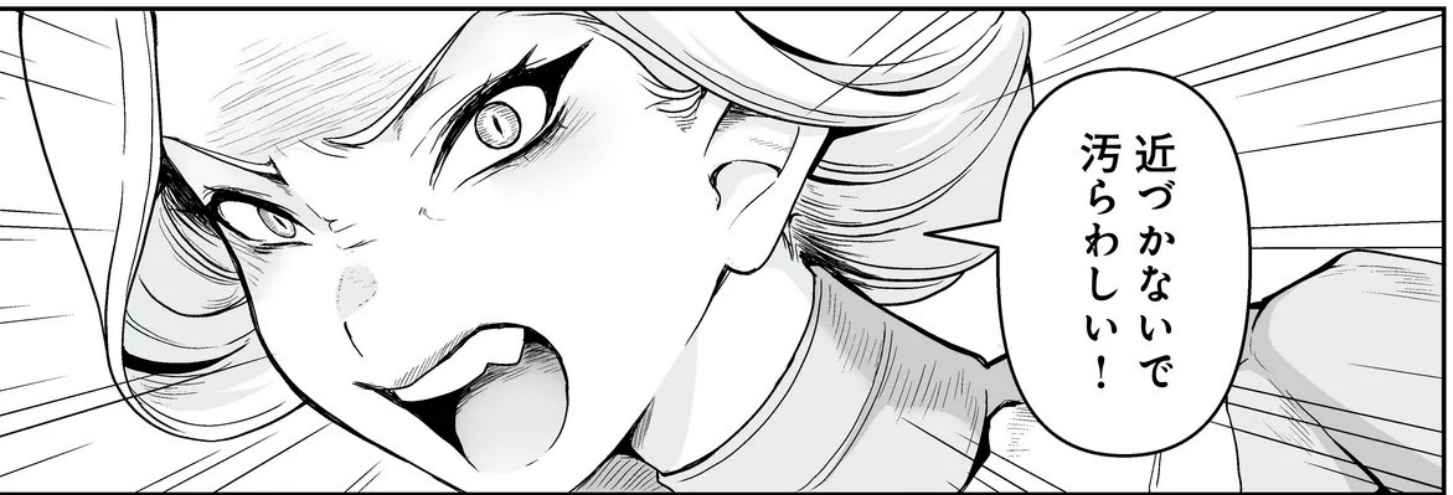


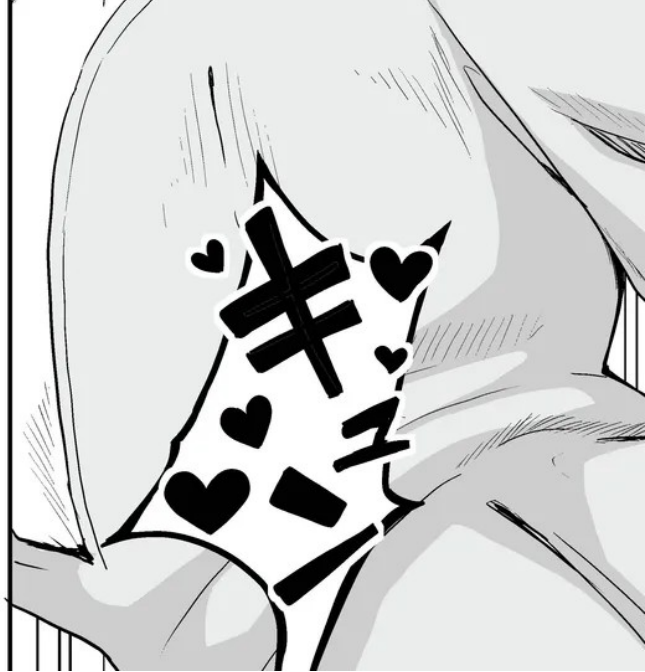
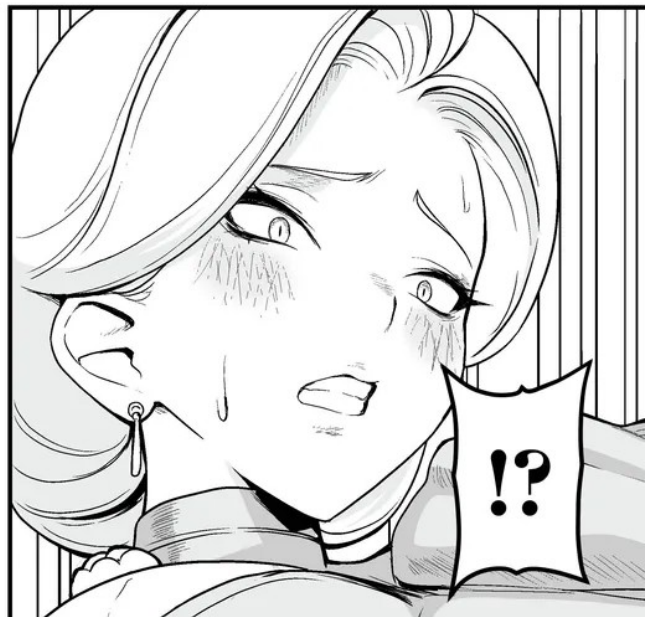
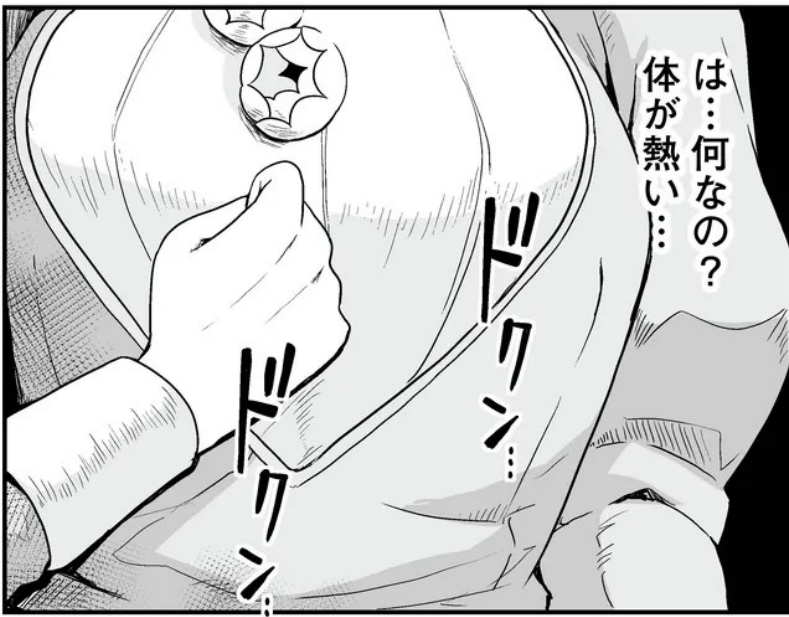
これを
確認すれば…

フランの本当の
性別が…











ほら…奥様も
私たちと一緒に
気持ちよく
なりましょうか？

なっ…
やめなさい!!



数年ぶりに見た
ペ〇スですもの
仕方ありませんわ

!?



あなたたちも
この女を
とめなさい!

離しなさい
クローネ!
あなた正気なの!?



さすがに一人じゃ
骨が折れるわね

誰か手伝って
くれる?



ク:クローネさん?
何を考えて
いるんですか?

こんな
ことしたら
本当に



だったら
面白そうなこと
するのが一番よ

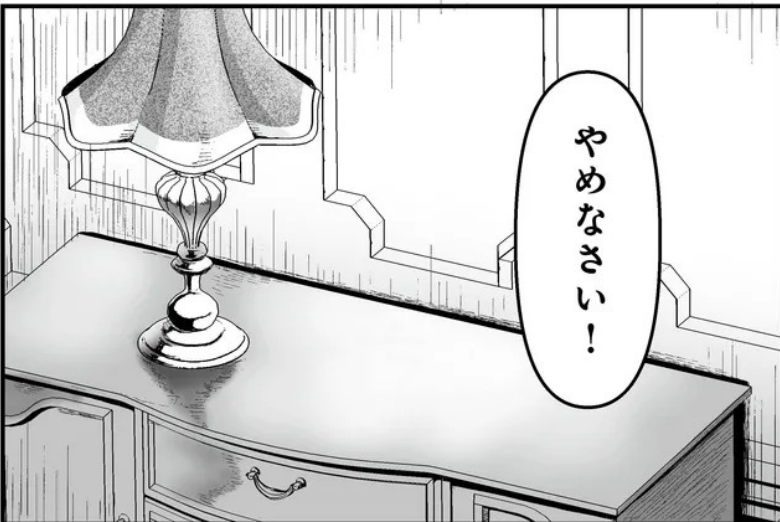
いいじゃない
フランちゃんの
ことはもう
バレちゃったんだし

グ
イ
ッ



はいは〜い♪
私がやるう！

シユヘルさん!!



やめなさい!



くっ…
この…

おんほん♡

じゃらん
上手に
脱げました♡



はい…
はい!

フラン

あなたの体で
奥様を気持ちよく
してさしあげて

え…?



さすが奥様です
お年を召されても
綺麗なお肌…

手入れが
行き届いてる
証拠です

乳首も…
こちらも…
綺麗なピンク色
ですね♪



この屋敷で
働く女性たちを
悦ばせるために

あなたを雇った
んだもの

主人である
奥様も
当然その対象よ
ほら早く

ほら奥様ってば
こんな
先っちょを
固くして…



やめなよ…
ああ!



奥様がツラそうに
しているわ
早くなさい

とろあ…

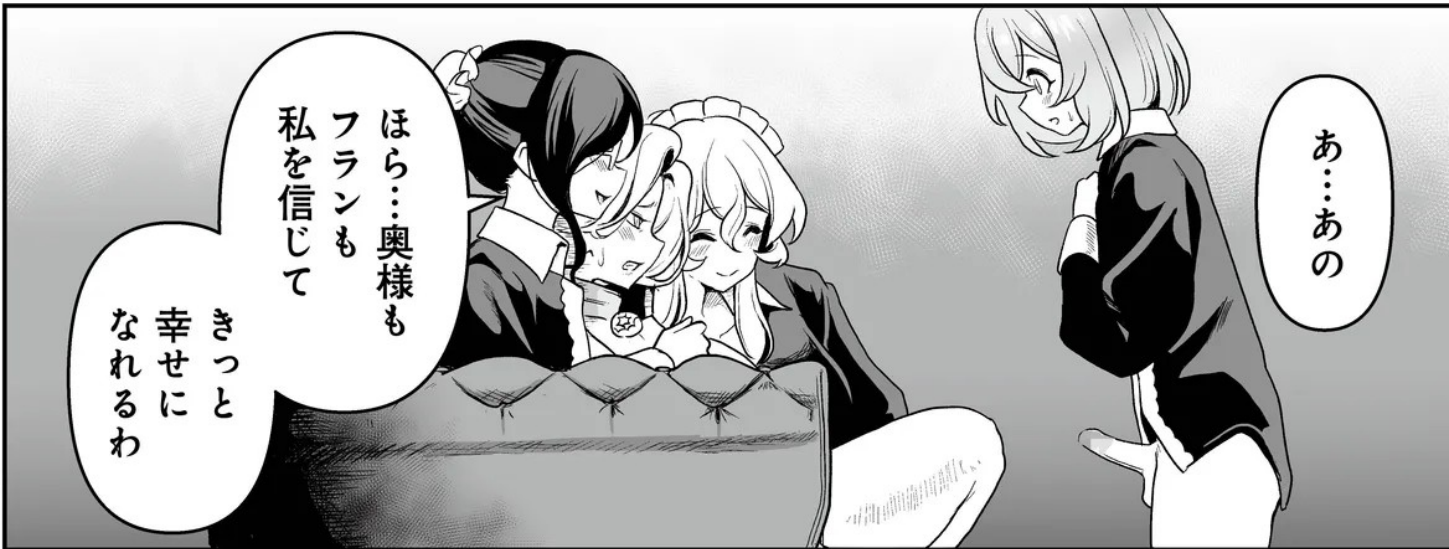
まあ♪
ここも滴が溢れて
きてるわ



あ…あの

ほら…奥様も
フランも
私を信じて

きっと
幸せに
なれるわ



奥様
数年ぶりの
セックスですね

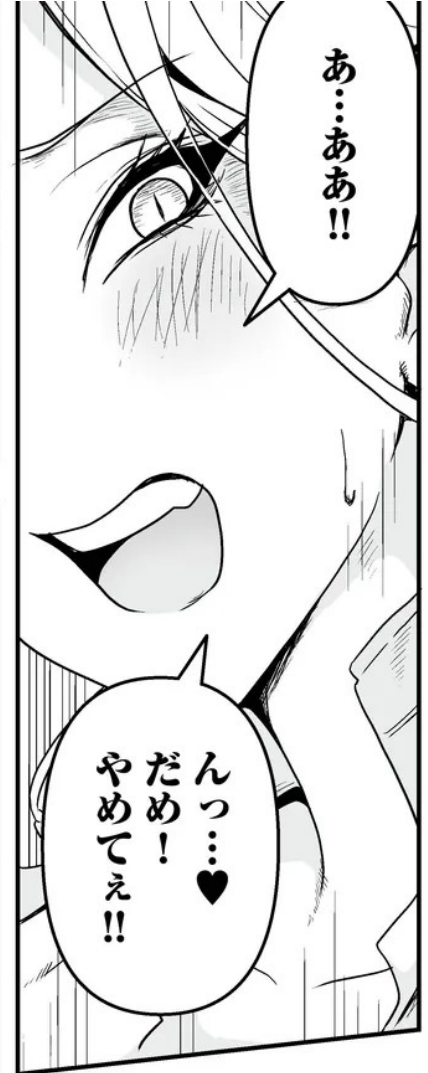
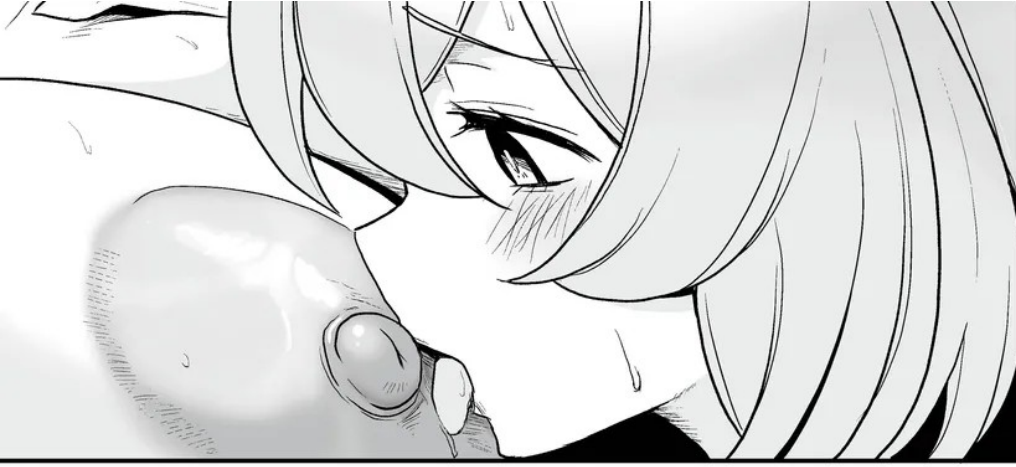
はあ

いきなりだと
体がびっくり
しちゃうから

まずは
乳首を軽く
なめてもらい
ましょうか

はあ…





あ…ああ!!

んっ…♡
だめ!
やめてえ!!



まあ大変
大洪水ですね♪

とろろか

でも…まだまだ
お股はもう少し
気持ちよくなって
からです



匂い…?
するかしら?

ろろ…

奥様は随分と
鼻がよろしいの
ですね



それにしても奥様
何故フランが
男だと気づい
たのです?

見た目はどこから
どう見ても
可愛いらしい女の子
ですのに

そん…なの
青臭い精液の
匂いさせてたら
気づくわよ!



…これは



それよりも
もっと良い香りが
することに
気づきませんか？



私がフランに
選んで
あげました

スズランの
コロンですよ



貴女はどう
感じますか？

くっ…



若くて…瑞々しくて
滑らかな美少年の
柔肌に触れて



本当に貴女が
毛嫌いしていた
男性のものですか？



ほら…奥様
香りだけじゃないわ
肌に触れている
この感触も



以前の旦那の
毛深くて浅黒く
固くカサついた肌



私知ってる
男の手とは何から
何まで違う



人肌の温度の
シルクに全身を
包まれるような感覚

触れた場所が
心地が良く
いつまでも
そうしていたくなる

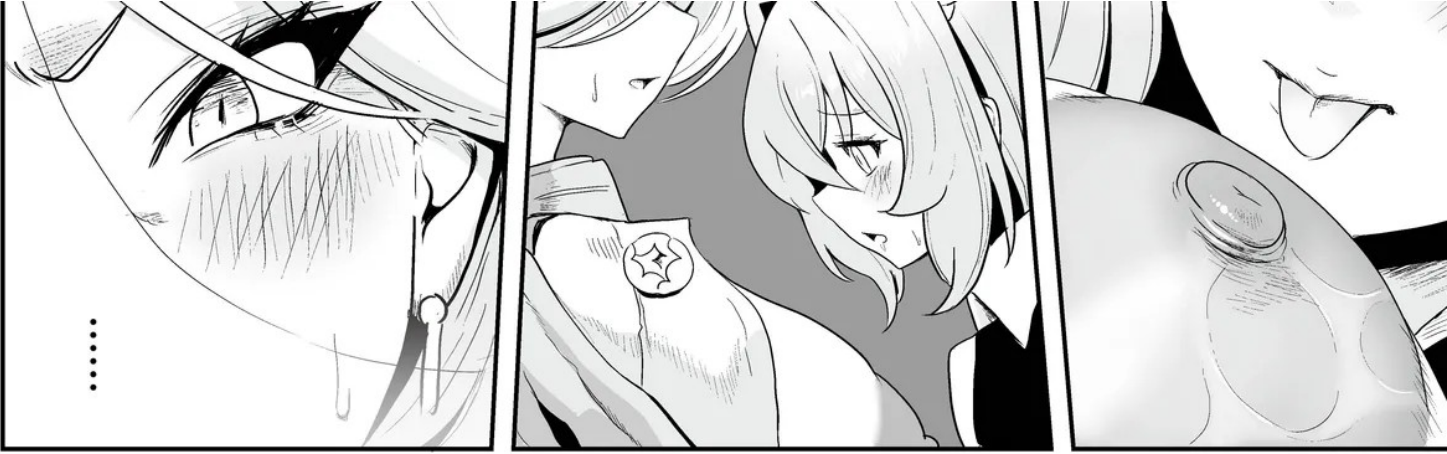


そんな自分が
たまらなく嫌だ
こんなはずは…

こんなはずは
ないのに!!



男が目の前にいて
触れ合ってるのに
不快さを感じない…!!



綺麗…



こんなに
近くで見ても
毛穴が見えない

白無垢の
陶磁器のような
滑らかな肌

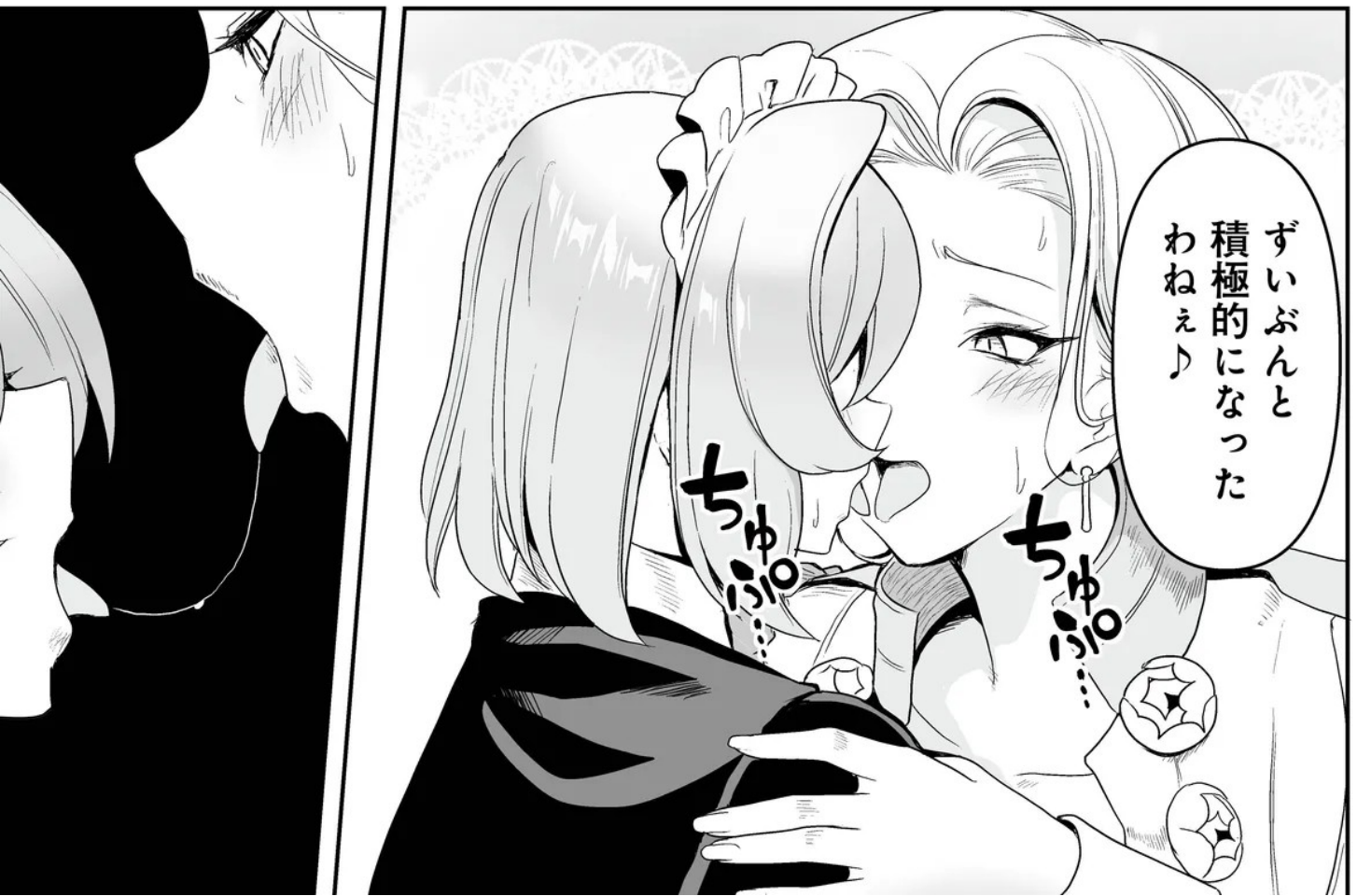
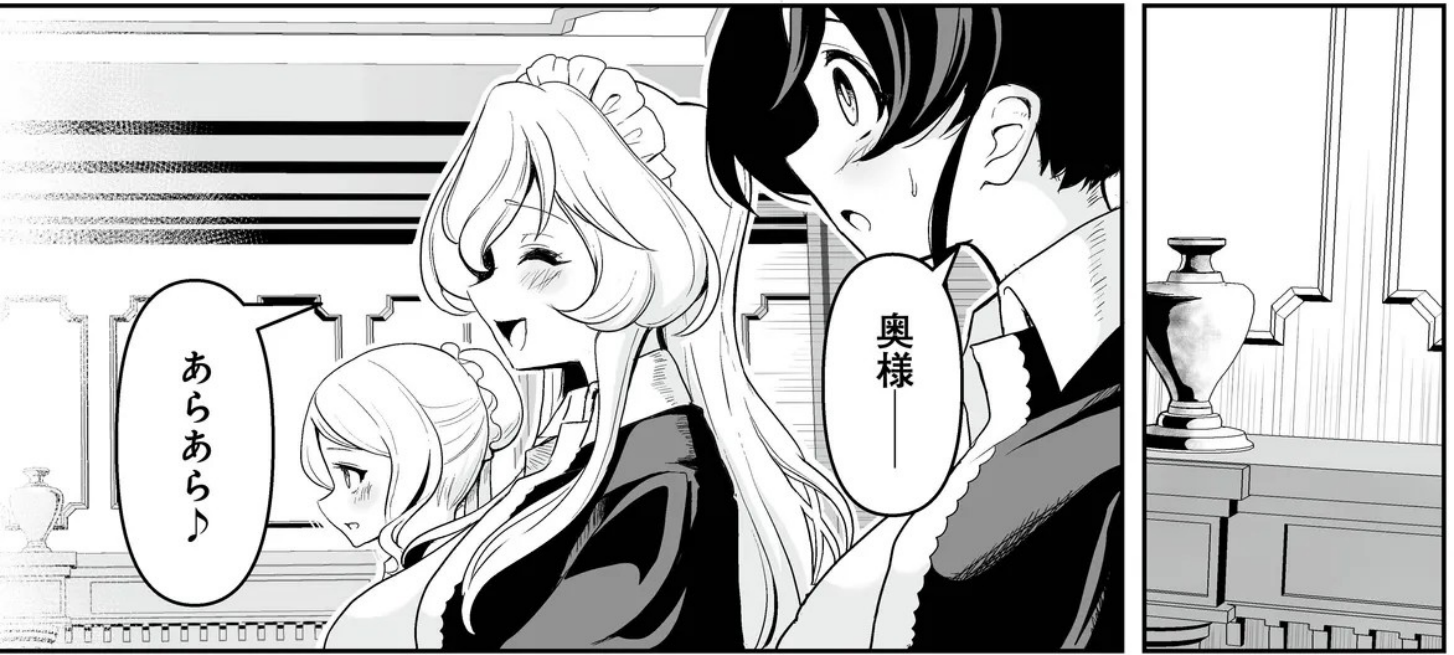
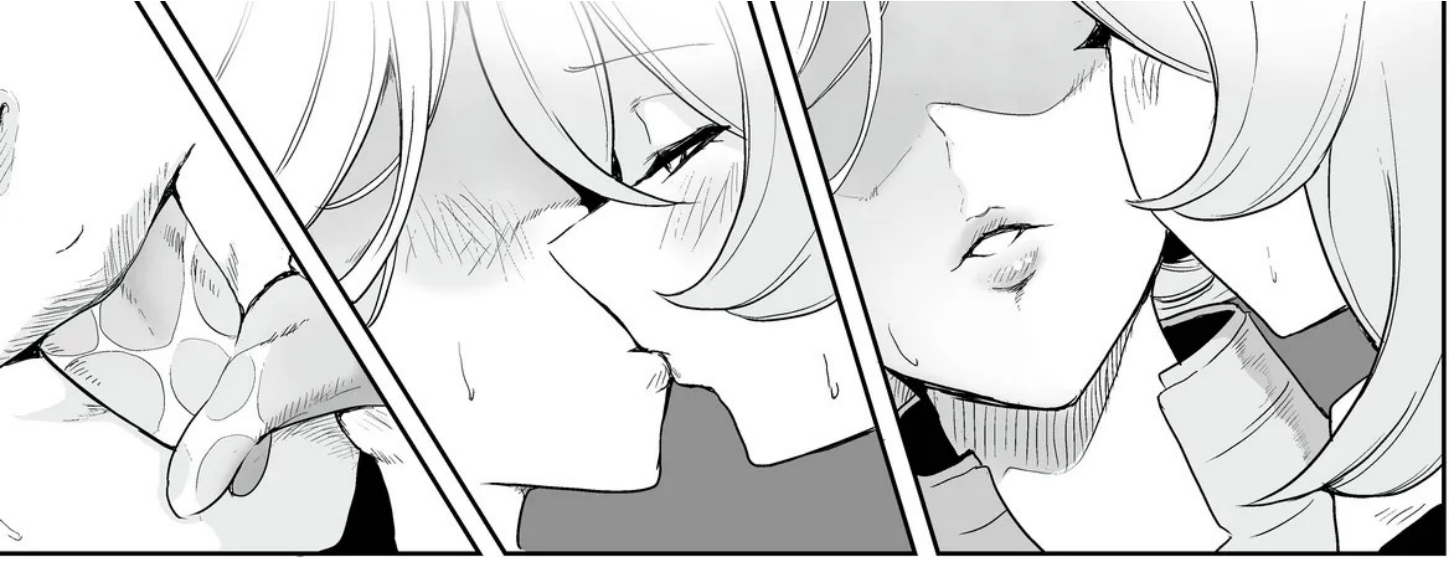
小さいのに
筋の通った
形の良い鼻

薄桃色の唇は
化粧かしら…
自前なら凄いわね

なんて長い
まつ毛かしら
瞳もガラス玉のよう

あ…瞳に
私が写り込んでる
ひどい表情ね







それはダメ
ダメよ!!



まって!



奥様…私
もう…



まだ私たちの
後押しが必要な
ようですね?

きゃあ!?

グ
イッ



ようやく
乗り気になった
と思ったら

ほ
あ…



さあフラン
早く奥様を
気持ちよくして
さしあげなさい



いや!
やめて!
恥ずかしいわ

まったく…
この反応といい
お股の色といい
若い少女の
ようですね

くほあ
くほあ

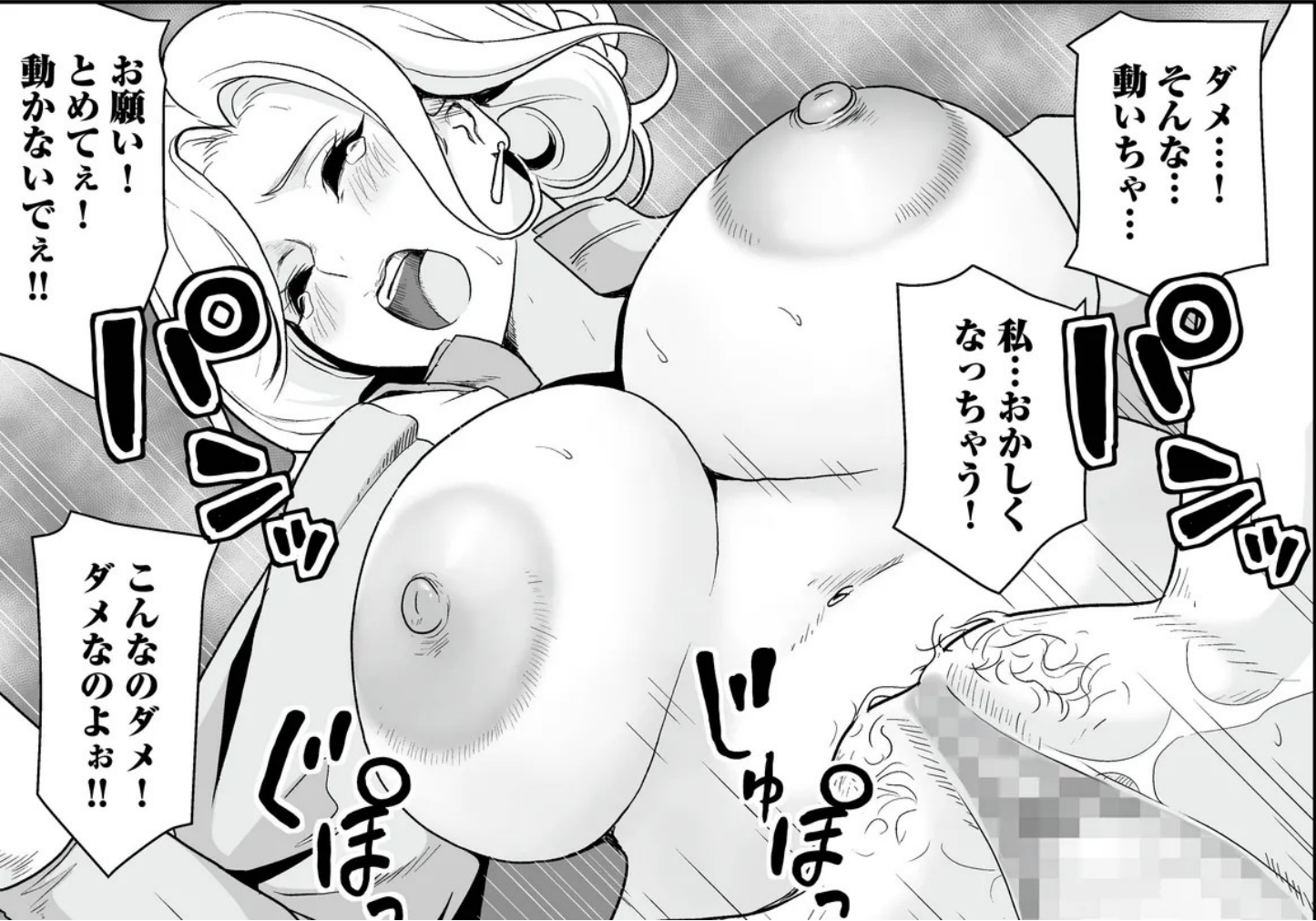


ピクッ
ピクッ

ああ!!



ちゅぽ
ちゅぽ…



お願い!
とめてえ!
動かないでえ!!

ダメ…!
そんな…
動いちゃ…

私…おかしく
なっちゃう!

こんなのダメ!
ダメなのよお!!

いほ
いほ

いほ
いほ



痛...くもない
不快でも...ない
気持ちいい...!!

ただ...
それが怖い

こんなの...私が
知ってる
セックスじゃ...ない



なんで...
なんでよお
なんで
気持ちいいのよお...



セックスするのは
もっと...痛くて
不快で...気持ち悪くて





どうです?
擦れる場所が
変わると
新鮮でしょう?

んっ♡
あっ♡
ちゅっ♡



そろそろ
体位を
変えましょうか

スツ

なっ...



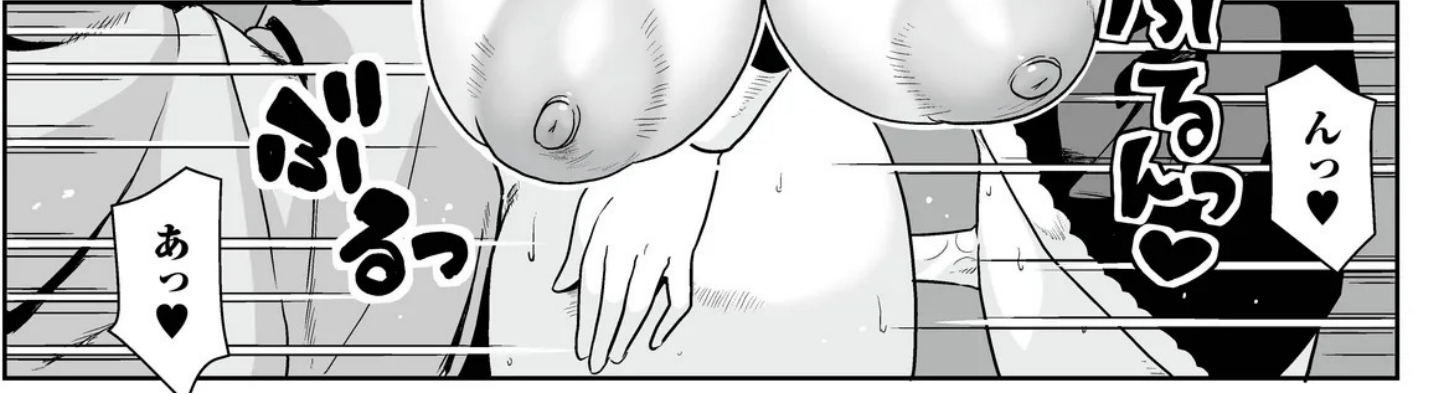
しっかり
自分で動いて
奥様を満足して
さしあげないと

ほらフランも
いつもみたいに
相手に任せきり
じゃダメですよ

は...はい

ぽっ♡
ぽっ♡

ぽっ♡
ぽっ♡



あっ♡

ぽっ♡
ぽっ♡
んっ♡





まったく
あなた
たちは…

フス
フス

自分たちが
気持ちよく
なりたいただけ
じゃない



フランちゃん
お口…
もっと吸わせて

ちゅぽ
ちゅぽ

ちよ…
待って…
みなさん

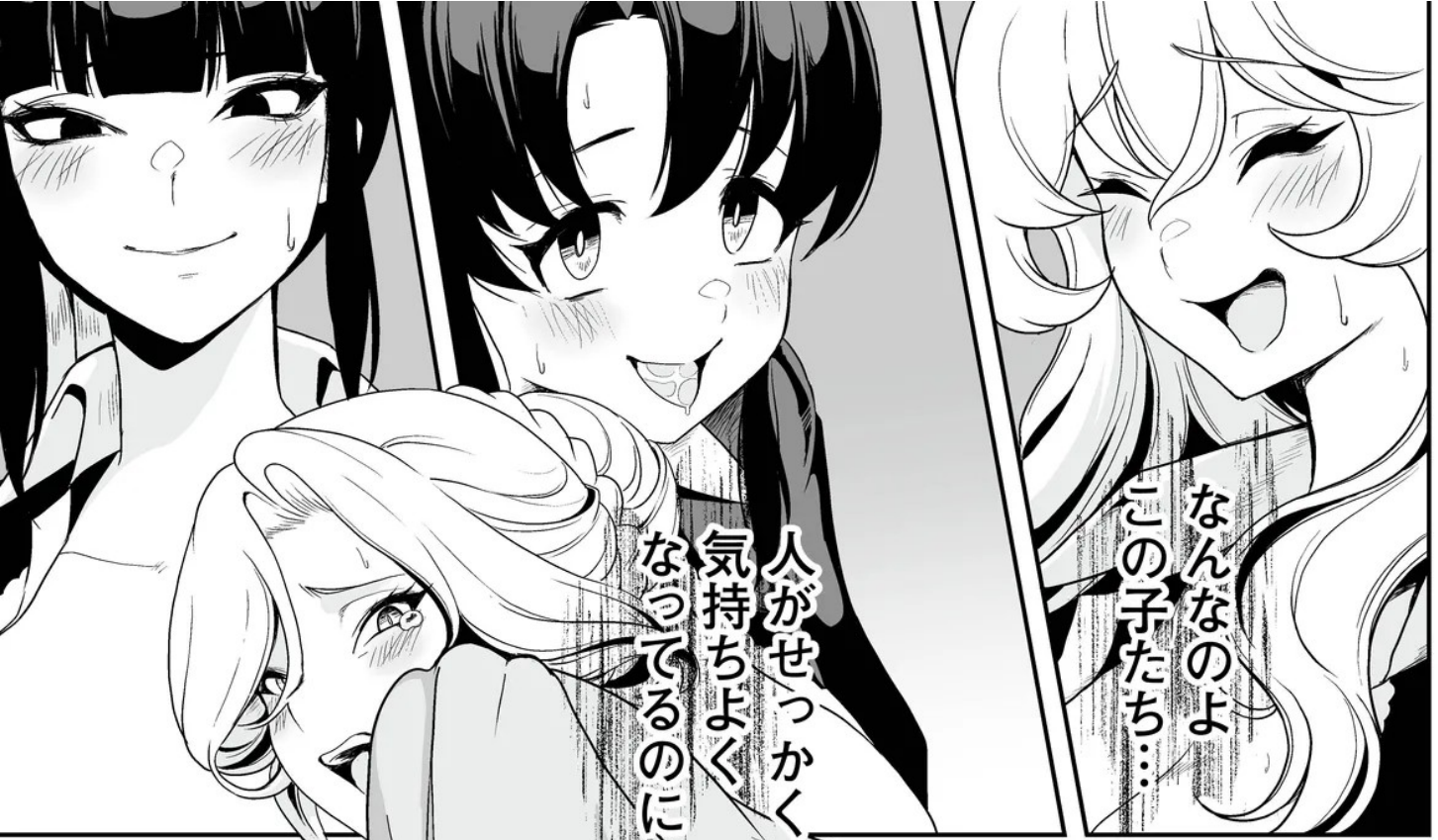
フランの
乳首…

フラン
私の胸…
揉んで

ちゅぽ
ちゅぽ

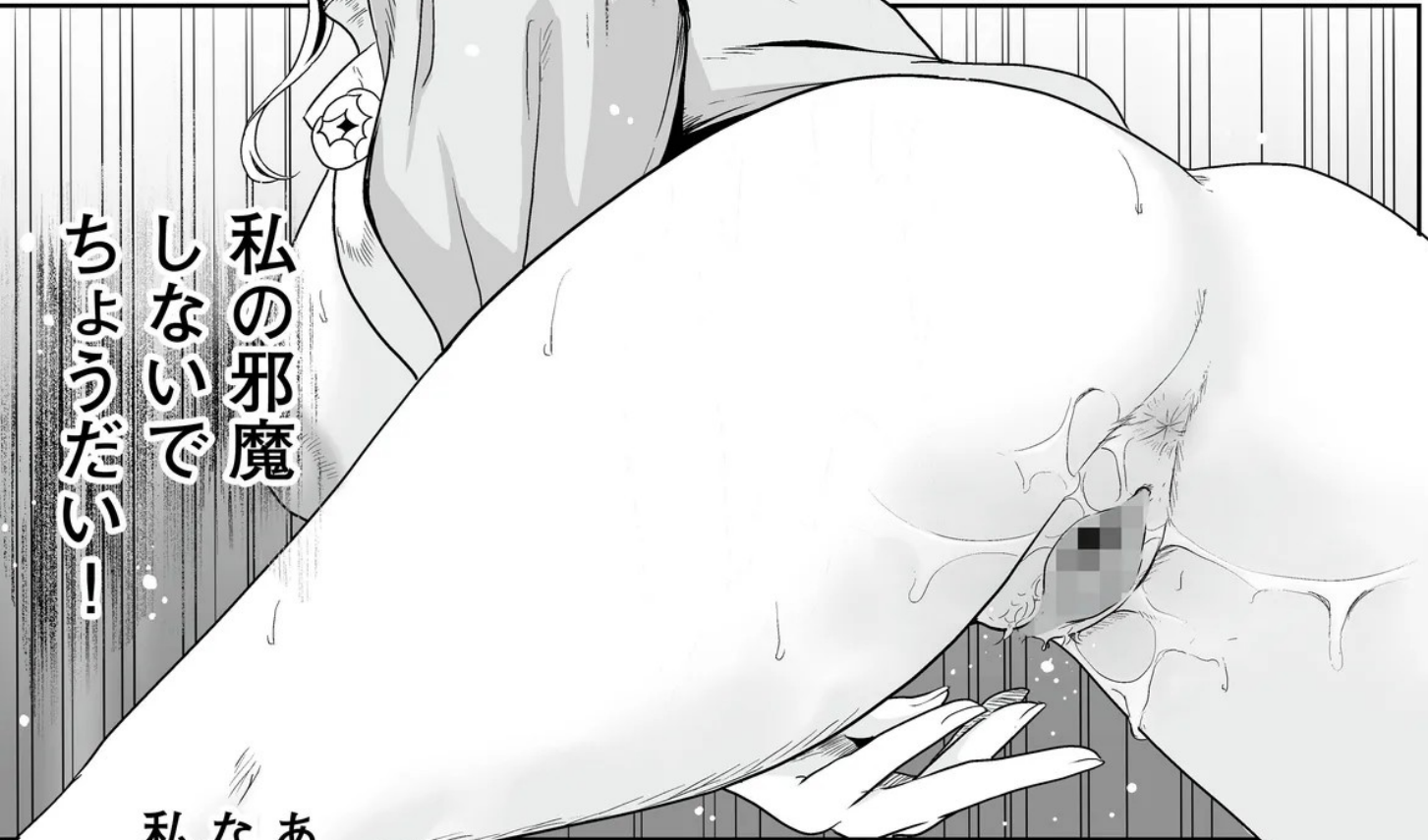
ゴゴゴ

あはっ
あはっ



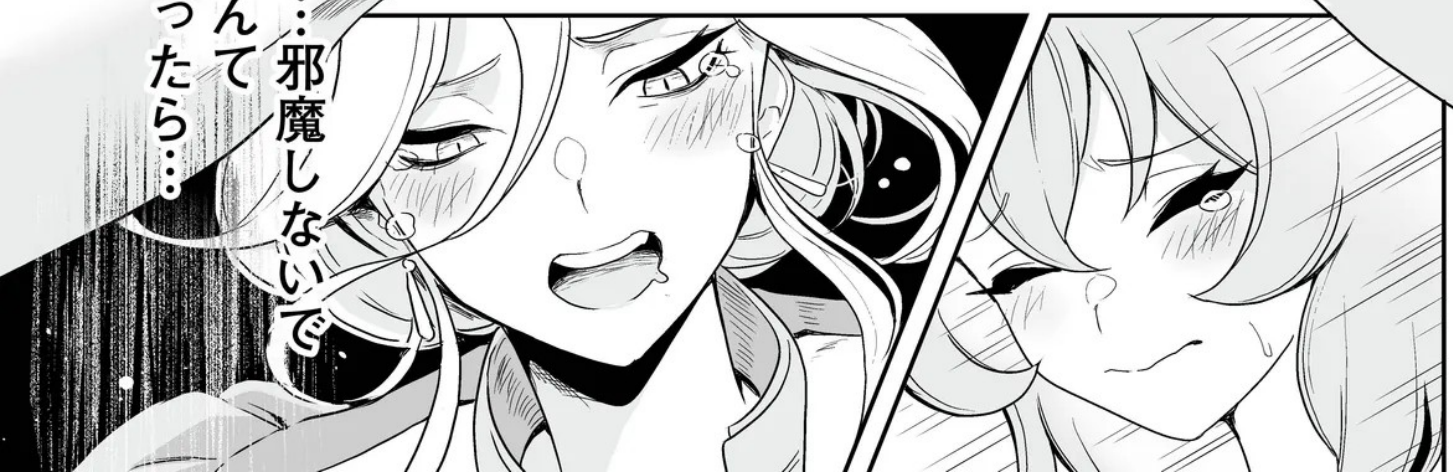
なんなのよ
この子たち…

人がせつかく
気持ちよく
なってるのに



私の邪魔
しないで
ちょうだい！

あ…邪魔しないで
なんて
私ったら…





カ
ン

。



認めましょう
私ったら…

カ
ン



セックスも…
フランのことも…
好きに
なっちゃった



汗もかいたし
お風呂の
用意をいたし
ましようか？

何言ってるの？



まだ始まった
ばかりじゃない
もう一度
いけるわよね？





そもそも…

あなたたち
まだ仕事中よね？

さっさと仕事に
戻りなさい！！

ワ
キ
キ



それじゃあ
フラン

奥様のこと
よろしくね

はい…



その後
僕は奥様に
屋敷に残ることを
許されたが

しっかり
お勤めを
果たしなさい

こっちの
仕事の方は
さらに大変に
なっていました

半年後

んっ…♡

フラン…

ちゅ♡

ちゅ♡

あっ…

奥様…

たった半年で

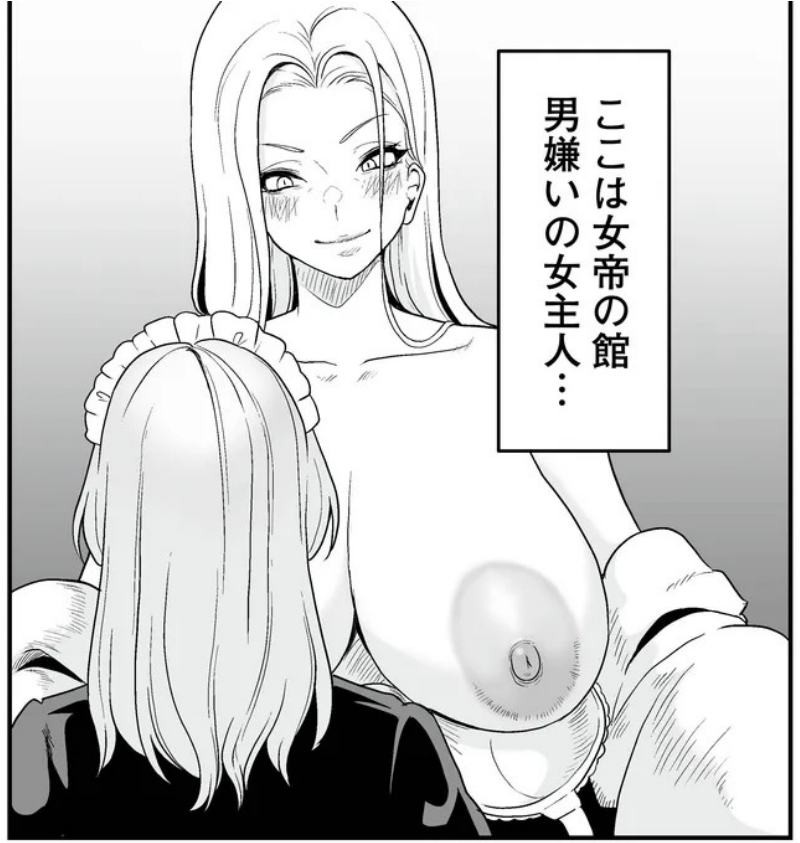
どうしようもなく
エッチな子に
なっちゃったわねえ

うふふ♪

それは奥様も
でしょう？



改め
少年好きの
女主人と



ここは女帝の館
男嫌いの女主人：



メイドたちの
楽園



きっと僕は
この先も館で
楽しく過ごして
いくのでしょう

